

自由選抜入試は、志望する学部に関連した高い能力を持つ者、あるいは学業以外の諸活動の分野に秀でた個性を持つ者で、本学並びに各学部の教育目的を理解し、そこで学びたいという熱意のある学生を受け入れることを目的としています。立教大学で自分の持つ能力や個性をさらに豊かに開花させたいと考える人たちの、積極的な出願を歓迎します。

出願資格種別	文学部 *2*3	異文化コミュニケーション学部	経済学部 *3	経営学部 *2	理学部	社会学部 *3	法学部	観光学部	コミュニティ福祉学部	現代心理学部 *2	スポーツウエルネス学部 *3
スポーツ活動における優秀な実績 *1				○	○		○				○
文化・芸術活動（音楽、放送、演劇、美術、文学、書道、弁論など）における優秀な実績	○			○	○		○			○	○
外国語運用能力・外国語資格	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国際バカロレア資格				○*3							
海外における異文化体験を持つ者	○			*4	○		○	○		○	○
課外活動の分野における指導的役割・めざましい実績	○			○					○	○	○
ボランティア活動、校外活動での指導的役割・めざましい実績	○			○					○	○	○
専攻分野の学業に役立つと思われる優れた実績	○			○	○			○		○	
専攻分野に関連する将来構想や具体的なプランを有する者								○			
専攻分野に関連する学科、関連科目を一定以上修得している者	○				○						
学部入学時から大学院進学を目指す者		○*3									
その他の実績等	上記の区分にとらわれない出願資格もありますので、詳細は各学部の出願資格で確認してください。										

- すべての学部（文学部文学科（ドイツ文学専修・フランス文学専修）を除く）で言語資格・検定試験のスコアの提出が必須となります。スコア基準の詳細は各学部の出願資格を確認してください。
- 「日本以外の学校教育制度に基づく高等学校」の出身者は、出願期間前に審査が必要です。詳細は入試要項を確認してください。
- 「自由選抜入試」内での複数学部・学科・専修の併願はできません。

- *1. 競技実績によっては、「アスリート選抜入試」も出願可能な場合があります。詳細はP.44をご覧ください。
- *2. 学科・専修によって出願資格が異なります。詳細は各学部の出願資格をご覧ください。
- *3. 既卒者も出願できます。
- *4. 帰国生入試を実施しています。詳細はP.46をご覧ください。

利用できる英語資格・検定試験についての注記【全学部共通】

- ケンブリッジ英語検定については、A2 Key、B1 Preliminary、B2 First、C1 Advanced、C2 Proficiencyの試験種別を利用可能とします。A2 Key、B1 Preliminary、B2 Firstについてはfor schoolsも利用可能とします。出願資格に定める条件を満たしていれば、各試験種別の合格・不合格に関わらず出願可能です。ケンブリッジ英語検定Linguaskillの場合、公開受検のスコアを有効とします（自宅受検のスコアは利用できません）。
- 実用英語技能検定〔英検〕については、英検（従来型）、英検S-CBT、英検S-Interviewいずれも有効とします。出願資格に定める条件を満たしていれば、各級の合格・不合格に関わらず出願可能です（一次試験で取得したスコアのみで基準を満たした場合でも、二次試験を受験している必要があります）。一次試験・二次試験が別日である英検（従来型）、英検S-Interviewについては、二次試験を出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とします。なお、英検IBAは利用できません。
- GTECについては、CBTタイプ、検定版いずれも有効とします。GTECアセスメント版、GTEC Business、GTEC Academicは利用できません。
- IELTS (Academic Module) は、IELTSコンピューター版も有効とします。IELTS Online、IELTS Indicatorは利用できません。また、One Skill Retakeを利用したスコアは受け付けません。
- TOEFL iBTについては、Test Date Scoresを有効とし、MyBest™ Scoresは利用できません。Home Editionは利用できません。

文学部

キリスト教学科

募集人員	出願資格
キリスト教学科： 若干名	<p>次の1～4の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下同じ）を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者。</p> <p>(b) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2025年3月修了見込みの者。</p> <p>(c) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者。</p> <p>2. 高等学校を卒業している者は、高等学校の評定平均値が3.8以上の者。 高等学校卒業見込みの者は、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.8以上の者。 なお、出願条件1(c)に該当する者については、評定平均値の条件は設けない。</p> <p>3. 本学文学部（キリスト教学科）での勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>4. 次の方式Ⅰ 方式Ⅱのいずれかに該当する者。</p> <p>方式Ⅰ 次のA・Bの条件をすべて満たす者。</p> <p>A. 次の〔資格Ⅰ〕～〔資格Ⅴ〕のいずれかに該当する者。</p> <p>〔資格Ⅰ〕 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程（海外を含む）在学中に、継続的・主体的なボランティア活動、校内・校外活動、課外活動、あるいは海外活動をし、かつ、その活動においてめざましい実績を挙げた者、または指導的な役割を果たした者。</p> <p>〔資格Ⅱ〕 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、文化・芸術の分野（文学、美術、音楽、演劇など）における全国または国際レベルの大会において、上位に入賞し、かつ、その活動団体において指導的役割を果たした者、もしくは、文化・芸術活動において高いレベルの実績を挙げた者。</p> <p>〔資格Ⅲ〕 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、継続的・主体的なキリスト教関連諸活動をし、かつ、その活動においてめざましい実績を挙げた者、または指導的な役割を果たした者。</p> <p>〔資格Ⅳ〕 外国において、外国の学校教育制度に基づく高等学校（第10学年以上に相当する課程）で、継続して2学年以上の課程を修了し（2025年3月までに修了する見込みの者を含む）、かつ、特色ある異文化体験を持つ者。 ※ここでいう「外国の学校教育制度に基づく高等学校」には、在外教育施設は含まない。</p> <p>〔資格Ⅴ〕 特別支援学校高等部（在籍3年以上）を卒業する者で、校内・校外活動において継続的・主体的な文化・芸術活動、ボランティア活動、生徒会等で特筆すべき活動を行ったもの。</p> <p>B. 次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 次の英語資格・検定試験のいずれかの成績を取得している者。</p> <p>▶利用できる英語資格・検定試験については、P.20を参照すること。</p> <p>①ケンブリッジ英語検定 スコア140点以上 ②実用英語技能検定〔英検〕スコア1,950点以上 ③GTEC スコア930点以上 ④IELTS (Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア4.0以上 ⑤TEAP スコア225点以上 ⑥TEAP CBT スコア420点以上 ⑦TOEFL iBT スコア42点以上 ※英語資格・検定試験の成績は4技能スコアのみ有効とする。 ※いずれも出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。</p> <p>(b) 次の資格・検定試験のいずれかを受験し、スコア・級を提出できる者。</p> <p>①ドイツ語技能検定試験、またはGoethe-Zertifikat (4技能) ②実用フランス語技能検定試験、DELF/DALF、TCFのいずれか ③スペイン語技能検定試験、またはDELE ④中国語検定試験、または漢語水平考試 (HSK) ⑤ハンガール能力検定試験、または韓国語能力試験 ⑥ロシア語能力検定試験 ⑦実用イタリア語検定試験 ※いずれも言語資格・検定試験の取得年限は設けない。</p> <p>方式Ⅱ 次の英語資格・検定試験のいずれかの成績を取得している者。</p> <p>▶利用できる英語資格・検定試験については、P.20を参照すること。</p> <p>①ケンブリッジ英語検定スコア150点以上 ②実用英語技能検定〔英検〕スコア2,125点以上 ③GTECスコア1,065点以上 ④IELTS (Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア4.5以上 ⑤TEAPスコア267点以上 ⑥TEAP CBTスコア510点以上 ⑦TOEFL iBTスコア57点以上 ※英語資格・検定試験の成績は4技能スコアのみ有効とする。 ※いずれも出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。</p>

▶出願条件1(c)の詳細内容並びに選考方法／出願書類についてはP.27をご覧ください。

文学科英米文学専修

募集人員	出願資格
文学科 英米文学専修： 10名程度	<p>次の1～4の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下同じ）を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者。 (b) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2025年3月修了見込みの者。 (c) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者。</p> <p>2. 高等学校を卒業している者は、高等学校の評定平均値が4.0以上の者。 高等学校卒業見込みの者は、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が4.0以上の者。 なお、出願条件1(c)に該当する者については、評定平均値の条件は設けない。</p> <p>3. 本学文学部（文学科英米文学専修）での勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>4. 次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 次の英語資格・検定試験のいずれかの成績を取得している者。 ▶利用できる英語資格・検定試験については、P.20を参照すること。 ① ケンブリッジ英語検定スコア160点以上 ② 実用英語技能検定 [英検] スコア2,300点以上 ③ GTECスコア1,180点以上 ④ IELTS (Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア5.5以上 ⑤ TEAPスコア309点以上 ⑥ TEAP CBTスコア600点以上 ⑦ TOEFL iBTスコア72点以上 ※ 英語資格・検定試験の成績は4技能スコアのみ有効とする。 ※ いずれも出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。</p> <p>(b) 次の資格・検定試験のいずれかの成績を取得している者。 ① ドイツ語技能検定試験4級以上、またはGoethe-Zertifikat 4技能すべてA2以上 ② 実用フランス語技能検定試験3級以上、DELFDALF A2以上、TCF 250点以上（ただし補正試験のスコアは含めない）のいずれか ※ いずれも言語資格・検定試験の取得年限は設けない。</p>

▶出願条件1(c)の詳細内容並びに選考方法／出願書類についてはP.27をご覧ください。

文学科ドイツ文学専修

募集人員	出願資格
文学科 ドイツ文学専修： 若干名	<p>次の1・2の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下同じ）を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者。 (b) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2025年3月修了見込みの者。 (c) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者。</p> <p>2. 本学文学部（文学科ドイツ文学専修）での勉学に強い意欲を持つ者。</p>

▶出願条件1(c)の詳細内容並びに選考方法／出願書類についてはP.27をご覧ください。

文学科フランス文学専修

募集人員	出願資格
文学科 フランス文学専修： 若干名	<p>次の1・2の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下同じ）を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者。 (b) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2025年3月修了見込みの者。 (c) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者。</p> <p>2. 本学文学部（文学科フランス文学専修）での勉学に強い意欲を持つ者。</p>

▶出願条件1(c)の詳細内容並びに選考方法／出願書類についてはP.27をご覧ください。

文学科日本文学専修

募集人員	出願資格
文学科 日本文学専修： 若干名	<p>次の1～5の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下同じ）を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者。 (b) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2025年3月修了見込みの者。 (c) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者。</p> <p>2. 高等学校を卒業している者は、高等学校の評定平均値が3.8以上の者。 高等学校卒業見込みの者は、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.8以上の者。 なお、出願条件1(c)に該当する者については、評定平均値の条件は設けない。</p> <p>3. 本学文学部（文学科日本文学専修）での勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>4. 高等学校を卒業している者は、高等学校の国語の評定平均値が4.0以上の者。 高等学校卒業見込みの者は、高等学校第3学年第1学期までの国語の評定平均値が4.0以上の者。 なお、出願条件1(c)に該当する者については、当該条件は設けない。</p> <p>5. 次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 次の英語資格・検定試験のいずれかの成績を取得している者。 ▶利用できる英語資格・検定試験については、P.20を参照すること。 ① ケンブリッジ英語検定スコア140点以上 ② 実用英語技能検定 [英検] スコア1,950点以上 ③ GTECスコア930点以上 ④ IELTS (Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア4.0以上 ⑤ TEAPスコア225点以上 ⑥ TEAP CBTスコア420点以上 ⑦ TOEFL iBTスコア42点以上 ※ 英語資格・検定試験の成績は4技能スコアのみ有効とする。 ※ いずれも出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。</p> <p>(b) 次の資格・検定試験のいずれかの成績を取得している者。 ① ドイツ語技能検定試験4級以上、またはGoethe-Zertifikat 4技能すべてA2以上 ② 実用フランス語技能検定試験3級以上、DELFDALF A2以上、TCF 250点以上（ただし補正試験のスコアは含めない）のいずれか ③ スペイン語技能検定4級以上、またはDELE A2以上 ④ 中国語検定試験4級以上、または漢語水平考（HSK）4級、5級、6級のいずれかで180点以上 ⑤ ハングル能力検定試験4級以上、または韓国語能力試験2級以上 ⑥ ロシア語能力検定試験4級以上 ※ いずれも言語資格・検定試験の取得年限は設けない。</p>

▶出願条件1(c)の詳細内容並びに選考方法／出願書類についてはP.27をご覧ください。

文学科文芸・思想専修

募集人員	出願資格
<p>文学科 文芸・思想専修： 若干名</p>	<p>次の1～6の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下同じ）を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者。 (b) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2025年3月修了見込みの者。 (c) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者。</p> <p>2. 高等学校を卒業している者は、高等学校の評定平均値が3.8以上の者。 高等学校卒業見込みの者は、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.8以上の者。 なお、出願条件1(c)に該当する者については、評定平均値の条件は設けない。</p> <p>3. 本学文学部（文学科文芸・思想専修）での勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>4. 高等学校を卒業している者は、高等学校の国語の評定平均値が4.0以上の者。 高等学校卒業見込みの者は、高等学校第3学年第1学期までの国語の評定平均値が4.0以上の者。 なお、出願条件1(c)に該当する者については、当該条件は設けない。</p> <p>5. 高等学校を卒業している者は、高等学校において地理歴史および公民から合計6単位以上を修得し、かつその評定平均値が4.0以上の者。 高等学校卒業見込みの者は、高等学校第3学年第1学期までに地理歴史および公民から合計6単位以上を修得し、かつその評定平均値が4.0以上の者。 なお、出願条件1(c)に該当する者については、当該条件は設けない。</p> <p>6. 次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 次の英語資格・検定試験のいずれかの成績を取得している者。 ▶利用できる英語資格・検定試験については、P.20を参照すること。</p> <p>① ケンブリッジ英語検定スコア140点以上 ② 実用英語技能検定 [英検] スコア1,950点以上 ③ GTECスコア930点以上 ④ IELTS (Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア4.0以上 ⑤ TEAPスコア225点以上 ⑥ TEAP CBTスコア420点以上 ⑦ TOEFL iBTスコア42点以上 ※ 英語資格・検定試験の成績は4技能スコアのみ有効とする。 ※ いずれも出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。</p> <p>(b) 次の資格・検定試験のいずれかの成績を取得している者。</p> <p>① ドイツ語技能検定試験4級以上、または Goethe-Zertifikat 4技能すべてA2以上 ② 実用フランス語技能検定試験3級以上、DEL F / DALF A2以上、TOF 250点以上（ただし補正試験のスコアは含めない）のいずれか ③ スペイン語技能検定4級以上、または DELE A2以上 ④ 中国語検定試験4級以上、または漢語水平考試 (HSK) 4級、5級、6級のいずれかで180点以上 ⑤ ハングル能力検定試験4級以上、または韓国語能力試験2級以上 ⑥ ロシア語能力検定試験4級以上 ※ いずれも言語資格・検定試験の取得年限は設けない。</p>

▶出願条件1(c)の詳細内容並びに選考方法／出願書類についてはP.27をご覧ください。

史学科

募集人員	出願資格
<p>史学科： 10名程度</p>	<p>次の1～5の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 2023年4月から2025年3月までに高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下同じ）を卒業する者。 (b) 2023年4月から2025年3月までに通常の課程による12年の学校教育を修了する者。 (c) 2023年4月から2025年3月までに学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。</p> <p>2. 高等学校を卒業している者は、高等学校の評定平均値が3.8以上の者。 高等学校卒業見込みの者は、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.8以上の者。 なお、出願条件1(c)に該当する者については、評定平均値の条件は設けない。</p> <p>3. 本学文学部（史学科）での勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>4. 次の[資格Ⅰ]～[資格Ⅵ]のいずれかに該当する者。</p> <p>[資格Ⅰ] 次の(a)～(c)の条件のいずれかを満たす者。ただし、出願条件1(c)に該当する者については、この資格での出願はできない。 2024年4月から2025年3月までに高等学校を卒業する者</p> <p>(a) 高等学校第3学年末までに世界史探究を3単位以上修得見込みの者で、高等学校第3学年第1学期までに履修した世界史探究の評定平均値が4.5以上のもの。 ただし、高等学校のカリキュラム上、条件を満たすことができない場合には、以下の①、②のいずれかで出願条件を判断する。 ①「世界史探究」を別科目名で設定している場合には、当該科目を「世界史探究」に置き換える。 ②「世界史探究」が3単位未満に設定されていることで単位数の条件を満たさない高等学校のうち、「世界史探究」と同等の内容を学校設定科目として別科目名で設定している場合には、当該科目を「世界史探究」に置き換え、「世界史探究」と当該科目により判断する。</p> <p>(b) 高等学校第3学年末までに日本史探究を3単位以上修得見込みの者で、高等学校第3学年第1学期までに履修した日本史探究の評定平均値が4.5以上のもの。 ただし、高等学校のカリキュラム上、条件を満たすことができない場合には、以下の①、②のいずれかで出願条件を判断する。 ①「日本史探究」を別科目名で設定している場合には、当該科目を「日本史探究」に置き換える。 ②「日本史探究」が3単位未満に設定されていることで単位数の条件を満たさない高等学校のうち、「日本史探究」と同等の内容を学校設定科目として別科目名で設定している場合には、当該科目を「日本史探究」に置き換え、「日本史探究」と当該科目により判断する。</p> <p>(c) 高等学校第3学年末までに地理探究を3単位以上修得見込みの者で、高等学校第3学年第1学期までに履修した地理探究の評定平均値が4.5以上のもの。 ただし、高等学校のカリキュラム上、条件を満たすことができない場合には、以下の①、②のいずれかで出願条件を判断する。 ①「地理探究」を別科目名で設定している場合には、当該科目を「地理探究」に置き換える。 ②「地理探究」が3単位未満に設定されていることで単位数の条件を満たさない高等学校のうち、「地理探究」と同等の内容を学校設定科目として別科目名で設定している場合には、当該科目を「地理探究」に置き換え、「地理探究」と当該科目により判断する。</p> <p>2023年4月から2024年3月までに高等学校を卒業している者</p> <p>(a) 世界史Bを4単位以上修得し、かつその評定平均値が4.5以上の者。 (b) 日本史Bを4単位以上修得し、かつその評定平均値が4.5以上の者。 (c) 地理Bを4単位以上修得し、かつその評定平均値が4.5以上の者。 ※高等学校のカリキュラム上、条件を満たすことができない場合には、以下の①、②のいずれかで出願条件を判断する。 ①(a)～(c)の科目を別科目名で設定している場合には、当該科目を(a)～(c)の科目に置き換える。 ②(a)～(c)の科目が4単位未満に設定されていることで単位数の条件を満たさない高等学校のうち、(a)～(c)の科目と同等の内容を学校設定科目として別科目名で設定している場合には、当該科目を(a)～(c)の科目に置き換え、(a)～(c)の科目と当該科目により判断する。</p> <p>[資格Ⅱ] 歴史能力検定日本史1級、または世界史1級の成績を取得している者。 [資格Ⅲ] 国際地理オリンピック国内予選「第一次選抜試験通過者」や学会における高校生向けセッション（例えば日本地理学会高校生ポスターセッション）での発表経験を有する者。 [資格Ⅳ] 全日本高校模擬国連大会参加チームのメンバーとして活動した者、またはしている者。 [資格Ⅴ] 各都道府県の高等学校読書感想文コンクールで入選以上の成績をおさめた者。 [資格Ⅵ] 外国において、外国の学校教育制度に基づく高等学校（第10学年以上に相当する課程）で、継続して2学年以上の課程を修了し（2025年3月までに修了する見込みの者を含む）、かつ、特色ある異文化体験を持つ者。 ※ここでいう「外国の学校教育制度に基づく高等学校」には、在外教育施設は含めない。</p> <p>5. 次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 次の英語資格・検定試験のいずれかの成績を取得している者。 ▶利用できる英語資格・検定試験については、P.20を参照すること。</p> <p>① ケンブリッジ英語検定スコア146点以上 ② 実用英語技能検定 [英検] スコア2,067点以上 ③ GTECスコア1,027点以上 ④ IELTS (Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア4.5以上 ⑤ TEAPスコア253点以上 ⑥ TEAP CBTスコア480点以上 ⑦ TOEFL iBTスコア52点以上 ※ 英語資格・検定試験の成績は4技能スコアのみ有効とする。 ※ いずれも出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。</p> <p>(b) 次の資格・検定試験のいずれかの成績を取得している者。</p> <p>① ドイツ語技能検定試験4級以上、または Goethe-Zertifikat 4技能すべてA2以上 ② 実用フランス語技能検定試験3級以上、DEL F / DALF A2以上、TOF 250点以上（ただし補正試験のスコアは含めない）のいずれか ③ スペイン語技能検定4級以上、または DELE A2以上 ④ 中国語検定試験4級以上、または漢語水平考試 (HSK) 4級、5級、6級のいずれかで180点以上 ⑤ ハングル能力検定試験4級以上、または韓国語能力試験2級以上 ⑥ ロシア語能力検定試験4級以上 ※ いずれも言語資格・検定試験の取得年限は設けない。</p>

▶出願条件1(c)の詳細内容並びに選考方法／出願書類についてはP.27をご覧ください。

教育学科

募集人員	出願資格
教育学科： 若干名	<p>次の1～4の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の (a)～(c) のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下同じ）を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者。 (b) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2025年3月修了見込みの者。 (c) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者。</p> <p>2. 高等学校を卒業している者は、高等学校の評定平均値が4.0以上の者。 高等学校卒業見込みの者は、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が4.0以上の者。 なお、出願条件1(c)に該当する者については、評定平均値の条件は設けない。</p> <p>3. 本学文学部（教育学科）での勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>4. 次の (a)・(b) のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 次の英語資格・検定試験のいずれかを受験し、スコアを提出できる者。 ▶利用できる英語資格・検定試験については、P.20を参照すること。 ① ケンブリッジ英語検定 ② 実用英語技能検定 [英検] ③ GTEC ④ IELTS (Academic Module) ⑤ TEAP ⑥ TEAP CBT ⑦ TOEFL iBT ※ 英語資格・検定試験の成績は4技能スコアのみ有効とする。 ※ いずれも出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。</p> <p>(b) 次の資格・検定試験のいずれかの成績を取得している者。</p> <p>① ドイツ語技能検定試験4級以上、または Goethe-Zertifikat 4技能すべてA2以上 ② 実用フランス語技能検定試験3級以上、DEL F / DALF A2以上、TCF 250点以上（ただし補正試験のスコアは含めない）のいずれか ③ スペイン語技能検定4級以上、または DELE A2以上 ④ 中国語検定試験4級以上、または漢語水平考試 (HSK) 4級、5級、6級のいずれかで180点以上 ⑤ ハングル能力検定試験4級以上、または韓国語能力試験2級以上 ⑥ ロシア語能力検定試験4級以上 ⑦ 実用タイ語検定試験3級以上 ⑧ 実用ベトナム語技能検定試験 (ViLT) 4級以上 ※ いずれも言語資格・検定試験の取得年限は設けない。</p>

▶出願条件1(c)の詳細内容並びに選考方法／出願書類についてはP.27をご覧ください。

文学部

【共通出願条件1(c)の詳細内容について】
<p>出願条件1(c)に記載のある「学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者。」（史学科の場合、「2023年4月から2025年3月までに学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。」）とは、以下のいずれかに該当する者を指す。</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。 (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。 (4) 文部科学大臣の指定した者（史学科の場合、旧制学校等を修了した者は含めない）。 (5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）。ただし、史学科の場合、2025年3月31日までに満20歳（同年4月1日が誕生日の者を含む）以上になる者は含めない。 (6) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者。ただし、史学科の場合、2025年3月31日までに満20歳（同年4月1日が誕生日の者を含む）以上になる者は含めない。 (7) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの。 (8) その他、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したものを。</p>

選考方法	
<p>第1次選考</p> <p>以下の学科・専修は、出願書類をもとに書類選考を行います。</p> <p>キリスト教学科 文学科（英米文学専修、日本文学専修、文芸・思想専修） 史学科 教育学科 ※文学科（ドイツ文学専修、フランス文学専修）は、第1次選考は行いません。</p>	<p>第2次選考</p> <p>キリスト教学科：面接試験 文学科 英米文学専修：英作文、面接試験 ドイツ文学専修：外国語総合、面接試験 フランス文学専修：外国語総合、面接試験 日本文学専修：面接試験 文芸・思想専修：面接試験 史学科：面接試験 教育学科：小論文、面接試験</p> <p>●英作文：英語の問題文が与えられ、それについて書かれた英作文から、読解力・文章構成力・表現力などを総合的に評価します。 ●外国語総合：ドイツ語総合・フランス語総合から1科目選択。ドイツ語・フランス語の語学力（読解・文法・語彙）を測る問題とともに、ドイツ語・フランス語の読解力と日本語による論理的構成力・表現力を測る総合問題を課します。 ●小論文：教育や社会などをめぐるテーマが与えられ、読解力・論理的構成力・表現力などを総合的に評価します。</p>
<p>【出願書類】 入学志願票／志望理由書／調査書／活動報告書*1／証明書類*2 *1. キリスト教学科、文学科（日本文学専修、文芸・思想専修）、史学科のみ。 *2. キリスト教学科、文学科（英米文学専修、日本文学専修、文芸・思想専修）、史学科、教育学科のみ。</p>	

異文化コミュニケーション学部

方式 A	出願資格
募集人員	異文化コミュニケーション学部
	異文化コミュニケーション学部
	方式 A 15名程度
	次の1～4の条件をすべて満たす者。 1. 次の (a)～(c) のいずれかに該当する者。 (a) 2024年4月から2025年3月までに高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下同じ）を卒業する者。 (b) 2024年4月から2025年3月までに通常の課程による12年の学校教育を修了する者。 (c) 2024年4月から2025年3月までに学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（詳細は、下記を参照すること）。 2. 本学異文化コミュニケーション学部での勉学に強い意欲を持つ者。 3. 次の①～⑤のいずれかを受験し、スコアを提出できる者。 ▶利用できる英語資格・検定試験については、P.20を参照すること。 ① 実用英語技能検定 [英検] ② IELTS (Academic Module) ③ TEAP ④ TEAP CBT ⑤ TOEFL iBT ※ 英語資格・検定試験の成績は4技能スコアのみ有効とする。 ※ いずれも出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。 4. 次の (a)～(f) のいずれかに該当する者。 (a) 次の①～⑤のいずれかの成績を取得している者。 ▶利用できる英語資格・検定試験については、P.20を参照すること。 ① 実用英語技能検定 [英検] スコア2,300点以上 ② IELTS (Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア5.5以上 ③ TEAPスコア309点以上 ④ TEAP CBTスコア600点以上 ⑤ TOEFL iBTスコア72点以上 ※ 英語資格・検定試験の成績は4技能スコアのみ有効とする。 ※ いずれも出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。 (b) ドイツ語技能検定試験3級以上、Goethe-Zertifikat 4技能すべてA2以上、またはオーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験（ÖSD）A2以上のいずれかの成績を取得している者。 (c) 実用フランス語技能検定試験準2級以上、DELFL A2以上、TCF 250点以上（ただし補足試験のスコアは含めない）のいずれかの成績を取得している者。 (d) スペイン語技能検定3級以上、またはDELE B1 以上のいずれかの成績を取得している者。 (e) 中国語検定試験3級以上、または漢語水平考試（HSK）4級210点以上、5級・6級180点以上のいずれかの成績を取得している者。 (f) ハングル能力検定試験3級以上、または韓国語能力試験3級以上のいずれかの成績を取得している者。 ※ (b)～(f) については、言語資格・検定試験の取得年限は設けない。
	【異文化コミュニケーション学部：方式A 出願条件1(c)の詳細内容について】 出願条件1(c)に記載のある「2024年4月から2025年3月までに学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。」とは、以下のいずれかに該当する者を指す。 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。 (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。 (4) 文部科学大臣の指定した者（旧制学校等を修了した者は含めない）。 (5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者。 ただし、2025年3月31日までに満19歳（同年4月1日が誕生日の者を含む）以上になる者は含めない。 (6) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者。 ただし、2025年3月31日までに満19歳（同年4月1日が誕生日の者を含む）以上になる者は含めない。 (7) その他、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したものの。
	選考方法
第1次選考	第2次選考
●出願書類をもとに書類選考 〈課題作文〉 ※課題作文の詳細については、入試要項（6月中旬公開予定）で案内します。	●小論文：社会・文化・言語・教育などをめぐる課題文が与えられ、読解力・論理的構成力・表現力などを総合的に評価します。 ●面接試験
	【出願書類】 入学志願票／課題作文／調査書／証明書類

方式 B	出願資格
募集人員	異文化コミュニケーション学部
	異文化コミュニケーション学部
	方式 B 5名程度
	次の1～3の条件をすべて満たす者。 1. 次の (a)～(c) のいずれかに該当する者。 (a) 2023年4月から2025年3月までに高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下同じ）を卒業する者。 (b) 2023年4月から2025年3月までに通常の課程による12年の学校教育を修了する者。 (c) 2023年4月から2025年3月までに学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（詳細は、下記を参照すること）。 2. 本学異文化コミュニケーション学部・研究科での勉学に強い意欲を持つ者。 3. 次の資格Ⅰ～Ⅳのいずれかに該当する者。 ▶利用できる英語資格・検定試験については、P.20を参照すること。 〔資格Ⅰ〕 通訳翻訳専門コース 次の①～⑤のいずれかの成績を取得している者。 ① 実用英語技能検定 [英検] スコア2,400点以上 ② IELTS (Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア 6.0以上 ③ TEAP スコア332点以上 ④ TEAP CBT スコア671点以上 ⑤ TOEFL iBT スコア80点以上 〔資格Ⅱ〕 英語教育専門コース 次の①～⑤のいずれかの成績を取得している者。 ① 実用英語技能検定 [英検] スコア2,300点以上 ② IELTS (Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア 5.5以上 ③ TEAP スコア309点以上 ④ TEAP CBT スコア600点以上 ⑤ TOEFL iBT スコア72点以上 〔資格Ⅲ〕 日本語教育専門コース 次の①～⑤のいずれかの成績を取得している者。 ① 実用英語技能検定 [英検] スコア2,160点以上 ② IELTS (Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア 5.0以上 ③ TEAP スコア277点以上 ④ TEAP CBT スコア529点以上 ⑤ TOEFL iBT スコア60点以上 〔資格Ⅳ〕 国際協力専門コース 次の①～⑤のいずれかの成績を取得している者。 ① 実用英語技能検定 [英検] スコア2,160点以上 ② IELTS (Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア 5.0以上 ③ TEAP スコア277点以上 ④ TEAP CBT スコア529点以上 ⑤ TOEFL iBT スコア60点以上 ※英語資格・検定試験の成績は4技能スコアのみ有効とする。 ※ いずれも出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。
	【異文化コミュニケーション学部：方式B 出願条件1(c)の詳細内容について】 出願条件1(c)に記載のある「2023年4月から2025年3月までに学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。」とは、以下のいずれかに該当する者を指す。 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。 (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。 (4) 文部科学大臣の指定した者（旧制学校等を修了した者は含めない）。 (5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者。 ただし、2025年3月31日までに満20歳（同年4月1日が誕生日の者を含む）以上になる者は含めない。 (6) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者。 ただし、2025年3月31日までに満20歳（同年4月1日が誕生日の者を含む）以上になる者は含めない。 (7) その他、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したものの。
	選考方法
第1次選考	第2次選考
●出願書類をもとに書類選考	●面接試験：第1次選考で提出された研究計画書を用いて、プレゼンテーションを5分、質疑応答を15分行います（追加資料は認めません）。
	【出願書類】 入学志願票／志望理由書／調査書／研究計画書／推薦状／証明書類

▶ **方式B** は5年間で大学院修士までの学位を取得できる「5年一貫プログラム」志望者を選抜する方式です。プログラム概要については大学案内をご覧ください。
▶ **方式B** では、本入試が実施される前年度中（2025年度入試においては2023年4月から2025年3月まで）の卒業に限り、高等学校等卒業生（既卒者）も出願が可能です。

経済学部

募集人員	出願資格		
経済学科 経済政策学科 会計ファイナンス学科： 経済学部全体で 20名程度	次の1～3の条件をすべて満たす者。 1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。 (a) 高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下同じ）を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者。 (b) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2025年3月修了見込みの者。 (c) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者（詳細は、下記を参照すること）。 2. 本学経済学部（経済学科、経済政策学科、会計ファイナンス学科）での勉学に強い意欲を持つ者。 3. 次の英語資格・検定試験のいずれかの成績を取得している者。 ▶利用できる英語資格・検定試験については、P.20を参照すること。 (a) ケンブリッジ英語検定スコア140点以上 (b) 実用英語技能検定〔英検〕スコア1,950点以上 (c) GTECスコア930点以上 (d) IELTS (Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア4.0以上 (e) TEAPスコア225点以上 (f) TEAP CBTスコア420点以上 (g) TOEFL iBTスコア42点以上 (h) TOEIC L&Rのスコアと2.5倍したTOEIC S&Wのスコアとを合算したスコア1,150点以上（いずれもIPテスト不可） ※英語資格・検定試験の成績は4技能スコアのみ有効とする。 ※いずれも出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。 ----- 【経済学部：出願条件1(c)の詳細内容について】 出願条件1(c)に記載のある「学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者。」とは、以下のいずれかに該当する者を指す。 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。 (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。 (4) 文部科学大臣の指定した者。 (5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）。 (6) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者。 (7) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの。 (8) その他、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したものの。 選考方法 <table border="1"><tr><td>第1次選考 ● 出願書類をもとに書類選考</td><td>第2次選考 ● 総合科目：主に現代の政治や経済に関する知識や関心、基礎的な数学的分析能力を問います。 ● 面接試験</td></tr></table> 【出願書類】 入学志願票／志望理由書／調査書／証明書類	第1次選考 ● 出願書類をもとに書類選考	第2次選考 ● 総合科目：主に現代の政治や経済に関する知識や関心、基礎的な数学的分析能力を問います。 ● 面接試験
第1次選考 ● 出願書類をもとに書類選考	第2次選考 ● 総合科目：主に現代の政治や経済に関する知識や関心、基礎的な数学的分析能力を問います。 ● 面接試験		

経営学部

募集人員	出願資格
経営学科 国際経営学科： 経営学部全体で 方式A 資格I 10名程度 資格II 10名程度 資格III 20名程度	次の1～3の条件をすべて満たす者。 1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。 (a) 2024年4月から2025年3月までに高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下同じ）を卒業する者で、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が資格Iについては3.8以上のもの。資格IIおよび資格IIIについては4.0以上のもの。 (b) 2024年4月から2025年3月までに通常の課程による12年の学校教育を修了する者で、第3学年第1学期までの全体の評定平均値が資格Iについては3.8以上のもの。資格IIおよび資格IIIについては4.0以上のもの。 (c) 2024年4月から2025年3月までに学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。 2. 本学経営学部（経営学科、国際経営学科）での勉学に強い意欲を持つ者。 3. 経営学科においては、次の【資格I】～【資格III】のいずれかに該当する者。 国際経営学科においては、次の【資格III】に該当する者。 【資格I】 次の(a)・(b)の条件をすべて満たす者。 (a) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、スポーツの分野において、国際大会または全国大会で優秀な成績を収めた者。 団体競技の場合には、国際大会または全国大会で優秀な成績を収めたチームで、レギュラーまたはそれに相当する選手として活躍した者もしくは主将など指導的役割を果たした者。 (b) 次の英語資格・検定試験のいずれかの成績を取得している者。 ▶利用できる英語資格・検定試験については、P.20を参照すること。 ① ケンブリッジ英語検定スコア120点以上 ② 実用英語技能検定〔英検〕スコア1,700点以上 ③ GTECスコア930点以上 ④ IELTS (Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア4.0以上 ⑤ TEAPスコア135点以上 ⑥ TEAP CBTスコア235点以上 ⑦ TOEFL iBTスコア42点以上 ⑧ TOEIC L&Rのスコアと2.5倍したTOEIC S&Wのスコアとを合算したスコア625点以上（いずれもIPテスト可） ※ 英語資格・検定試験の成績は4技能スコアのみ有効とする。 ※ いずれも出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。 【資格II】 次の(a)～(c)のいずれかに該当し、かつ(d)に該当する者。 (a) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、文化・芸術の分野（音楽、放送、演劇、美術、文学、書道、プレゼンテーション、ディベートなど）における全国または国際レベルの大会において、上位に入賞し、かつ、その活動団体において指導的役割を果たした者。 (b) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、ボランティア活動、校内外の活動において指導的役割を果たし、かつ、めざましい実績を挙げた者。 (c) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、日商（日本商工会議所）簿記1級を取得し、校内の活動において指導的な役割を果たした者。 (d) 次の英語資格・検定試験のいずれかの成績を取得している者。 ▶利用できる英語資格・検定試験については、P.20を参照すること。 ① ケンブリッジ英語検定スコア140点以上 ② 実用英語技能検定〔英検〕スコア1,950点以上 ③ GTECスコア930点以上 ④ IELTS (Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア4.0以上 ⑤ TEAPスコア225点以上 ⑥ TEAP CBTスコア420点以上 ⑦ TOEFL iBTスコア42点以上 ⑧ TOEIC L&Rのスコアと2.5倍したTOEIC S&Wのスコアとを合算したスコア1,150点以上（いずれもIPテスト可） ※ 英語資格・検定試験の成績は4技能スコアのみ有効とする。 ※ いずれも出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。 【資格III】 次の(a)～(i)のいずれかに該当する英語の能力に優れた者。 ▶利用できる英語資格・検定試験については、P.20を参照すること。 (a) ケンブリッジ英語検定スコア160点以上の成績を取得している者。 (b) 実用英語技能検定〔英検〕スコア2,300点以上の成績を取得している者。 (c) GTECスコア1,180点以上の成績を取得している者。 (d) IELTS (Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア5.5以上の成績を取得している者。 (e) TEAPスコア309点以上の成績を取得している者。 (f) TEAP CBTスコア600点以上の成績を取得している者。 (g) TOEFL iBTスコア72点以上の成績を取得している者。 (h) TOEIC L&Rのスコアと2.5倍したTOEIC S&Wのスコアとを合算したスコア1,560点以上（いずれもIPテスト不可）の成績を取得している者。 (i) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、英語に関連する全国大会、国際大会等（例：英語ディベート大会、英語プレゼンテーション大会、模擬国連大会、英語エッセイコンテスト、SGH研究発表大会）で極めて優秀な成績を収めた者。 ※ 英語資格・検定試験の成績は4技能スコアのみ有効とする。 ※ (a)～(h)については出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。

自由選抜入試

2025年度入試日程はP.3をご覧ください。
出願の際は必ず入試要項（2024年6月中旬 本学Webサイトにて公開予定）を確認してください。

(前ページからつづく)

【経営学部：方式A出願条件1(c)の詳細内容について】 出願条件1(c)に記載のある「2024年4月から2025年3月までに学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。」とは、以下のいずれかに該当する者を指す。 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者で、出願条件1(a)に定める評定平均値を満たすもの。 (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。 (4) 文部科学大臣の指定した者（旧制学校等を修了した者は含めない）。 (5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者。 ただし、2025年3月31日までに満19歳（同年4月1日が誕生日の者を含む）以上になる者は含めない。 (6) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者。 ただし、2025年3月31日までに満19歳（同年4月1日が誕生日の者を含む）以上になる者は含めない。 (7) その他、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの。	
選考方法	
第1次選考 ● 出願書類をもとに書類選考	第2次選考 資格Ⅰ・Ⅱ ● 面接試験 資格Ⅲ ● 小論文：論文作成のための素材や枠がある程度与えられ、独創的発想・問題理解力・論理的構成力・文章表現力・知的素養などを評価します。 ● 面接試験
【出願書類】 入学志願票／志望理由書／調査書／活動報告書／証明書類	

方式B

募集人員	出願資格
経営学科 国際経営学科： 経営学部全体で 方式B 若干名	次の1～3の条件をすべて満たす者。 1. 日本国籍を有する者、または日本国の永住許可を受けている者（永住外国人等「出入国管理及び難民認定法」の別表第二に掲げる者）。 2. 国際バカロレア事務局から、2023年4月1日から2025年3月31日までに国際バカロレア資格（IB Diploma）を授与された者もしくは授与される見込みの者。 3. 次の(a)～(i)のいずれかに該当する英語の能力に優れた者。 ▶利用できる英語資格・検定試験については、P.20を参照すること。 (a) ケンブリッジ英語検定スコア160点以上の成績を取得している者。 (b) 実用英語技能検定 [英検] スコア2,300点以上の成績を取得している者。 (c) GTECスコア1,180点以上の成績を取得している者。 (d) IELTS (Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア5.5以上の成績を取得している者。 (e) TEAP スコア309点以上の成績を取得している者。 (f) TEAP CBT スコア600点以上の成績を取得している者。 (g) TOEFL iBT スコア72点以上の成績を取得している者。 (h) TOEIC L&Rのスコアと2.5倍した TOEIC S&Wのスコアとを合算したスコア1,560点以上（いずれもIPテスト不可）の成績を取得している者。 (i) 高等学校在学中に、英語に関連する全国大会、国際大会等（例：英語ディベート大会、英語プレゼンテーション大会、模擬国連大会、英語エッセイコンテスト、SGH研究発表大会）で極めて優秀な成績を収めた者。 ※英語資格・検定試験の成績は4技能スコアのみ有効とする。 ※(a)～(h)については出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。
選考方法	
第1次選考 ● 出願書類をもとに書類選考	第2次選考 ● 小論文：論文作成のための素材や枠がある程度与えられ、独創的発想・問題理解力・論理的構成力・文章表現力・知的素養などを評価します。 ● 面接試験
【出願書類】 入学志願票／志望理由書／IB Diploma／活動報告書／証明書類	

▶ 方式B では、本入試が実施される前年度中（2025年度入試においては2023年4月から2025年3月まで）の卒業に限り、高等学校等卒業生（既卒者）も出願が可能です。

理学部

募集人員	出願資格
数学科： 2名程度 物理学科： 2名程度 化学科： 4名程度 生命理学科： 4名程度	次の1～5の条件をすべて満たす者。 1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。 (a) 2024年4月から2025年3月までに高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下同じ）を卒業する者で、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.8以上のもの。 (b) 2024年4月から2025年3月までに通常の課程による12年の学校教育を修了する者で、第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.8以上のもの。 (c) 2024年4月から2025年3月までに学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（詳細は、下記を参照すること）。 2. 本学理学部（数学科、物理学科、化学科、生命理学科）での勉学に強い意欲を持つ者。 3. 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学Cおよび当該学科の下記の指定科目（*）を履修している者。理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ、理数数学特論履修者は上記科目に相当する科目に置き換えることができる（理数数学特論を履修していない場合は、出願前に問い合わせること）。 ※高等専門学校の3年次を修了する者、もしくは出願条件1(c)に該当する者（在外教育施設を修了する者を除く）で、出願条件3に定める科目を別の名称の科目により修得している場合は、出願前に問い合わせること。 4. 次の英語資格・検定試験のいずれかを受験し、スコアを提出できる者。 ▶利用できる英語資格・検定資格についてはP.20を参照すること。 (a) ケンブリッジ英語検定 (b) 実用英語技能検定 [英検] (c) GTEC (d) IELTS (Academic Module) (e) TEAP (f) TEAP CBT (g) TOEFL iBT ※英語資格・検定試験の成績は4技能スコアのみ有効とする。 ※いずれも出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。 5. 次のA・Bのいずれかに該当する者。 A. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。 (a) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、文化・芸術の分野（音楽、演劇、美術、文学、書道、弁論など）における都道府県レベル以上の大会・コンクールなどで上位に入賞した者。 (b) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、スポーツの分野で都道府県レベル以上の大会においてベスト8以上の成績を収めた者。団体競技の場合は、ベスト8以上の成績を収めたチームで、指導的役割を果たした者もしくはレギュラーまたはこれに準ずる選手として活躍した者。 (c) 外国において、外国の学校教育制度に基づく高等学校（第10学年以上に相当する課程）で、継続して2学年以上の課程を修了した者（2025年3月までに修了する見込みの者を含む）。 ※ここでいう「外国の学校教育制度に基づく高等学校」には、在外教育施設は含めない。 B. 次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。 (a) 日本数学オリンピックの予選に合格した者など、専攻分野の学業に役立つと思われる優れた実績を有する者。 (b) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程第3学年第1学期までの学習成績において、当該学科の下記の指定科目（*）を履修し、それらの評定平均値が4.5以上の者。 ※高等専門学校の3年次を修了する者、もしくは出願条件1(c)に該当する者（在外教育施設を修了する者を除く）で、出願条件5B(b)に定める科目を別の名称の科目により修得している場合は、出願前に問い合わせること。 ※出願条件1(c)に該当する者（在外教育施設を修了する者を除く）については、評定平均値の条件は求めない。 *各学科の指定科目 ●数学科の指定科目は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学Cとする。理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ、理数数学特論履修者は上記科目に相当する科目に置き換えることができる。 ●物理学科の指定科目は、物理基礎、物理とする。理数物理履修者は上記科目に相当する科目に置き換えることができる。 ●化学科の指定科目は、化学基礎、化学とする。理数化学履修者は上記科目に相当する科目に置き換えることができる。 ●生命理学科の指定科目は、化学基礎、化学、生物基礎、生物のうちの3科目とする。理数化学、理数生物履修者は上記科目に相当する科目に置き換えることができる。 ----- 【理学部：出願条件1(c)の詳細内容について】 出願条件1(c)に記載のある「2024年4月から2025年3月までに学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。」とは、以下のいずれかに該当する者を指す。 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者で、出願条件1(a)に定める評定平均値を満たすもの。 (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。 (4) 文部科学大臣の指定した者（旧制学校等を修了した者は含めない）。 (5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者。 ただし、2025年3月31日までに満19歳（同年4月1日が誕生日の者を含む）以上になる者は含めない。 (6) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者。 ただし、2025年3月31日までに満19歳（同年4月1日が誕生日の者を含む）以上になる者は含めない。 (7) その他、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの。
選考方法	
第1次選考 ● 出願書類をもとに書類選考	第2次選考 ● 小論文：主に科学の基礎を内容とし、論文作成のための素材や枠がある程度与えられ、独創的発想・問題理解力・論理的構成力・文章表現力・科学的素養などを評価します。 ● 面接試験
【出願書類】 入学志願票／志望理由書／調査書／活動報告書／証明書類	

社会学部

募集人員	出願資格
<p>社会学科： 5名程度</p> <p>現代文化学科： 5名程度</p> <p>メディア社会学科： 5名程度</p>	<p>次の1～3の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下同じ）を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者。</p> <p>(b) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2025年3月修了見込みの者。</p> <p>(c) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者（詳細は、下記を参照すること）。</p> <p>2. 本学社会学部（社会学科、現代文化学科、メディア社会学科）での勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>3. 次の英語資格・検定試験のいずれかの成績を取得している者。</p> <p>▶利用できる英語資格・検定試験については、P.20を参照すること。</p> <p>(a) ケンブリッジ英語検定スコア140点以上</p> <p>(b) 実用英語技能検定〔英検〕スコア1,950点以上</p> <p>(c) GTECスコア930点以上</p> <p>(d) IELTS (Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア4.0以上</p> <p>(e) TEAPスコア225点以上</p> <p>(f) TEAP CBTスコア420点以上</p> <p>(g) TOEFL iBTスコア42点以上</p> <p>※英語資格・検定試験の成績は4技能スコアのみ有効とする。</p> <p>※いずれも出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。</p> <hr/> <p>【社会学部：出願条件1(c)の詳細内容について】</p> <p>出願条件1(c)に記載のある「学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者。」とは、以下のいずれかに該当する者を指す。</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。</p> <p>(2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。</p> <p>(3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。</p> <p>(4) 文部科学大臣の指定した者。</p> <p>(5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）。</p> <p>(6) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者。</p> <p>(7) その他、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したものの。</p>

選考方法	
<p>第1次選考</p> <p>●出願書類をもとに書類選考</p> <p>〈自由研究〉 現代社会に関するテーマを調査・研究して、考察、分析したことを、「タイトル」「研究の背景・目的・方法」「研究の結果と考察」の要素を含む形で工夫してまとめてください。「自考力」（自主的に問題を発見し、分析し、提言する力）を総合的に評価します。</p> <p>※自由研究のテーマは、志望学科別に次のとおりです。</p> <p>社会学科：現代の社会に関するテーマ 現代文化学科：現代の社会と文化に関するテーマ メディア社会学科：現代の社会とメディアに関するテーマ</p>	<p>第2次選考</p> <p>●小論文：与えられたテーマについて書かれた小論文から、論理的構成力・文章表現力・知的素養・独創的発想などを総合的に評価します。</p> <p>●面接試験：第1次選考で提出された自由研究成果物を用いて、口頭発表を5分、質疑応答を10分行います（追加資料は認めません）。研究目的を明示した上で、独自の意見として、何を主張したいのか、明確に結論部で表現してください。</p>
<p>【出願書類】入学志願票／志望理由書／自由研究／調査書／証明書類</p>	

法学部

募集人員	出願資格
<p>法学科 国際ビジネス法学科 政治学科： 法学部全体で 8名程度</p>	<p>次の1～4の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 2024年4月から2025年3月までに高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下同じ）を卒業する者で、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.8以上のもの。</p> <p>(b) 2024年4月から2025年3月までに通常の課程による12年の学校教育を修了する者で、第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.8以上のもの。</p> <p>(c) 2024年4月から2025年3月までに学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（詳細は、下記を参照すること）。</p> <p>2. 本学法学部（法学科、国際ビジネス法学科、政治学科）での勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>3. 次の英語資格・検定試験のいずれかを受験し、スコアを提出できる者。</p> <p>▶利用できる英語資格・検定試験については、P.20を参照すること。</p> <p>(a) ケンブリッジ英語検定</p> <p>(b) 実用英語技能検定〔英検〕</p> <p>(c) GTEC</p> <p>(d) IELTS (Academic Module)</p> <p>(e) TEAP</p> <p>(f) TEAP CBT</p> <p>(g) TOEFL iBT</p> <p>※英語資格・検定試験の成績は4技能スコアのみ有効とする。</p> <p>※いずれも出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。</p> <p>4. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、学術・文化・芸術の分野で高い評価を得た者（音楽、演劇、美術、文学、書道、弁論などにおける都道府県レベル以上の大会・コンクールで上位に入賞した者など）。団体での活動の場合は、高い評価を得ることに中心的役割を果たした者。</p> <p>(b) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、スポーツの分野で都道府県レベル以上の大会においてベスト8以上の成績を収めた者。団体競技の場合は、ベスト8以上の成績を収めたチームで、指導的役割を果たした者もしくはレギュラーまたはそれに準ずる選手として活躍した者。</p> <p>(c) 外国において、外国の学校教育制度に基づく高等学校（第10学年以上に相当する課程）で、継続して2学年以上の課程を修了し（2025年3月までに修了する見込みの者を含む）、かつ、特色ある異文化体験を持つ者。</p> <p>※ここでいう「外国の学校教育制度に基づく高等学校」には、在外教育施設は含まない。</p>

選考方法	
<p>第1次選考</p> <p>●出願書類をもとに書類選考</p>	<p>第2次選考</p> <p>●面接試験</p>
<p>【出願書類】入学志願票／志望理由書／調査書／活動報告書／証明書類</p>	

観光学部

募集人員	出願資格
<p>観光学科： 5名程度</p> <p>交流文化学科： 5名程度</p>	<p>次の1～4の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 2024年4月から2025年3月までに高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下同じ）を卒業する者で、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.8以上のもの。</p> <p>(b) 2024年4月から2025年3月までに通常の課程による12年の学校教育を修了する者で、第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.8以上のもの。</p> <p>(c) 2024年4月から2025年3月までに学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（詳細は、下記を参照すること）。</p> <p>2. 本学観光学部（観光学科、交流文化学科）での勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>3. 次の英語資格・検定試験のいずれかの成績を取得している者。</p> <p>▶利用できる英語資格・検定試験については、P.20を参照すること。</p> <p>(a) ケンブリッジ英語検定スコア140点以上</p> <p>(b) 実用英語技能検定〔英検〕スコア1,950点以上</p> <p>(c) GTEC スコア930点以上</p> <p>(d) IELTS (Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア 4.0以上</p> <p>(e) TEAPスコア 225点以上</p> <p>(f) TEAP CBTスコア 420点以上</p> <p>(g) TOEFL iBTスコア42点以上</p> <p>※英語資格・検定試験の成績は4技能スコアのみ有効とする。</p> <p>※いずれも出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。</p> <p>4. 次の【資格Ⅰ】～【資格Ⅳ】のいずれかに該当する者。</p> <p>【資格Ⅰ】 観光関連産業の経営と観光による地域活性化のいずれかに関して、明確な問題意識または将来構想を持ち、それを解決または実現する強い意欲を持つ者。</p> <p>【資格Ⅱ】 観光関連産業の後継者で、その経営を通じて社会に貢献する強い意欲と、経営に関する具体的なプランを有する者。</p> <p>【資格Ⅲ】 国際間や都市・農村間などの文化交流に積極的に参加した実績と、その実績を通じて観光事業、観光による文化交流に貢献する強い意欲を持つ者。</p> <p>【資格Ⅳ】 学校教育における12年以上の課程のうち、通算して3学年以上の課程を日本国外において修了し、かつ、その海外体験を通じて観光事業、文化交流に貢献する強い意欲を持つ者。</p> <hr/> <p>【観光学部：出願条件1(c)の詳細内容について】</p> <p>出願条件1(c)に記載のある「2024年4月から2025年3月までに学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。」とは、以下のいずれかに該当する者を指す。</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。</p> <p>(2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者で、出願条件1(a)に定める評定平均値を満たすもの。</p> <p>(3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。</p> <p>(4) 文部科学大臣の指定した者（旧制学校等を修了した者は含めない）。</p> <p>(5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者。ただし、2025年3月31日までに満19歳（同年4月1日が誕生日の者を含む）以上になる者は含めない。</p> <p>(6) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者。ただし、2025年3月31日までに満19歳（同年4月1日が誕生日の者を含む）以上になる者は含めない。</p> <p>(7) その他、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの。</p>

選考方法	
<p>第1次選考</p> <p>●出願書類をもとに書類選考</p> <p>〈課題作文〉</p> <p>資格Ⅰ志願者課題：観光関連産業の経営と観光による地域活性化のいずれかに関して、明確な問題意識または将来構想を持つに至った経緯・理由と、それを解決または実現するための入学後の学習・活動計画について、3,000字程度の文章にまとめてください。課題作文に書かれた内容・論理的構成力・文章表現力などを総合的に評価します。</p> <p>資格Ⅱ志願者課題：観光関連産業の経営を継承しようとする意欲をどのようか、その具体的な構想と課題を3,000字程度の文章にまとめてください。なお、継承しようとする企業・組織の名称と概要を課題作文中に明記してください。課題作文に書かれた内容・論理的構成力・文章表現力などを総合的に評価します。</p> <p>資格Ⅲ志願者課題：観光を主とする人間の移動と社会・文化の関係について、あなたの経験や知っている事例に言及しながら、「社会や文化の変容」と「多文化共生社会の構想」の観点から2,000字程度で考察してください。課題作文に書かれた内容・論理的構成力・文章表現力などを総合的に評価します。</p> <p>資格Ⅳ志願者課題：海外での経験が観光学部への入学意欲に結びついた理由を具体的に説明し、その意欲を実現するための入学後の学習・活動計画について、3,000字程度の文章にまとめてください。課題作文に書かれた内容・論理的構成力・文章表現力などを総合的に評価します。</p>	<p>第2次選考</p> <p>●小論文：与えられたテーマについて書かれた小論文から、論理的構成力・分析力・文章表現力・基礎的学問知識などを総合的に評価します。</p> <p>●面接試験</p>
<p>【出願書類】 入学志願票／課題作文／調査書／証明書類</p>	

コミュニティ福祉学部

募集人員	出願資格
<p>コミュニティ政策学科： 20名程度</p> <p>福祉学科： 8名程度</p>	<p>次の1～4の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 2024年4月から2025年3月までに高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下同じ）を卒業する者で、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.8以上のもの。</p> <p>(b) 2024年4月から2025年3月までに通常の課程による12年の学校教育を修了する者で、第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.8以上のもの。</p> <p>(c) 2024年4月から2025年3月までに学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（詳細は、下記を参照すること）。</p> <p>2. 本学コミュニティ福祉学部（コミュニティ政策学科、福祉学科）での勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>3. 次の英語資格・検定試験のいずれかを受験し、スコアを提出できる者。</p> <p>▶利用できる英語資格・検定試験については、P.20を参照すること。</p> <p>① 実用英語技能検定〔英検〕</p> <p>② GTEC</p> <p>③ IELTS (Academic Module)</p> <p>④ TEAP</p> <p>⑤ TEAP CBT</p> <p>⑥ TOEFL iBT</p> <p>※英語資格・検定試験の成績は4技能スコアのみ有効とする。</p> <p>※いずれも出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。</p> <p>4. 次の【資格Ⅰ】～【資格Ⅲ】のいずれかに該当する者。</p> <p>【資格Ⅰ】 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、課外活動の各分野（社会的活動、部活動、クラブ・サークル活動、生徒会活動、起業、まちづくり、国際協力、ボランティア活動など）において主導的・指導的役割を果たし、優れた成果をあげた者。</p> <p>【資格Ⅱ】 次の(a)～(e)のいずれかに該当する語学の能力に優れた者。</p> <p>(a) 英語については次の①～⑦のいずれかの成績を取得している者。</p> <p>▶利用できる英語資格・検定試験については、P.20を参照すること。</p> <p>① 実用英語技能検定〔英検〕スコア2,300点以上</p> <p>② GTECスコア1,180点以上</p> <p>③ IELTS (Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア5.5以上</p> <p>④ TEAPスコア309点以上</p> <p>⑤ TEAP CBTスコア600点以上</p> <p>⑥ TOEFL iBTスコア72点以上</p> <p>⑦ 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、英語に関連する全国大会、国際大会等（例：英語ディベート大会、英語プレゼンテーション大会、英語エッセイコンテスト）で極めて優秀な成績を収めた者。</p> <p>※英語資格・検定試験の成績は4技能スコアのみ有効とする。</p> <p>※①～⑥については出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。</p> <p>(b) ドイツ語技能検定試験3級以上、Goethe-Zertifikat 4技能すべてA2以上、またはオーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験（ÖSD）A2以上のいずれかの成績を取得している者。</p> <p>(c) 実用フランス語技能検定試験準2級以上、DEL F A2以上、TCF 250点以上（ただし補足試験のスコアは含めない）のいずれかの成績を取得している者。</p> <p>(d) 中国語検定試験3級以上、または漢語水平考試（HSK）4級210点以上、5級・6級180点以上のいずれかの成績を取得している者。</p> <p>(e) ハンガリー語能力検定試験3級以上、または韓国語能力試験3級以上のいずれかの成績を取得している者。</p> <p>※(b)～(e)については言語資格・検定試験の取得年限は設けない。</p> <p>【資格Ⅲ】 特別支援学校高等部（在籍3年以上）を卒業する者で、高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、校内・校外活動において継続的・主体的なボランティア活動、障害者スポーツ大会、生徒会等で特筆すべき活動を行ったもの。</p> <hr/> <p>【コミュニティ福祉学部：出願条件1(c)の詳細内容について】</p> <p>出願条件1(c)に記載のある「2024年4月から2025年3月までに学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。」とは、以下のいずれかに該当する者を指す。</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。</p> <p>(2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者で、出願条件1(a)に定める評定平均値を満たすもの。</p> <p>(3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。</p> <p>(4) 文部科学大臣の指定した者（旧制学校等を修了した者は含めない）。</p> <p>(5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者。ただし、2025年3月31日までに満19歳（同年4月1日が誕生日の者を含む）以上になる者は含めない。</p> <p>(6) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者。ただし、2025年3月31日までに満19歳（同年4月1日が誕生日の者を含む）以上になる者は含めない。</p> <p>(7) その他、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの。</p>

選考方法	
<p>第1次選考</p> <p>●出願書類をもとに書類選考</p>	<p>第2次選考</p> <p>●面接試験：第1次選考で提出されたプレゼンテーション資料を用いて、口頭発表を7分、質疑応答を13分行います（追加資料は認めません）。</p>
<p>【出願書類】 入学志願票／志望理由書／調査書／活動報告書／プレゼンテーション資料／証明書類</p>	

現代心理学部

募集人員	出願資格
	<p>次の1～4の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。 (a) 2024年4月から2025年3月までに高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下同じ）を卒業する者で、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.5以上のもの。 (b) 2024年4月から2025年3月までに通常の課程による12年の学校教育を修了する者で、第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.5以上のもの。 (c) 2024年4月から2025年3月までに学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（詳細は、下記を参照すること）。</p> <p>2. 本学現代心理学部（心理学科、映像身体学科）での勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>3. 次の英語資格・検定試験のいずれかを受験し、スコアを提出できる者。 ▶利用できる英語資格・検定試験については、P.20を参照すること。 (a) ケンブリッジ英語検定 (b) 実用英語技能検定 [英検] (c) GTEC (d) IELTS (Academic Module) (e) TEAP (f) TEAP CBT (g) TOEFL iBT ※英語資格・検定試験の成績は4技能スコアのみ有効とする。 ※いずれも出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。</p> <p>4. 各学科が定める資格のいずれかに該当する者。 ●心理学科 [資格Ⅰ] 心理学の学修に役立つと思われる優れた能力・実績・経験を有する者。 [資格Ⅱ] 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、校外活動、ボランティア活動、課外活動等において指導的な役割を果たした者、またはめざましい実績を挙げた者。 [資格Ⅲ] 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、文化・芸術の分野（音楽、放送、演劇、美術、文学、書道、弁論など）における全国または国際レベルの大会において、上位に入賞し、かつ、その活動団体において指導的役割を果たした者。 [資格Ⅳ] 外国において、外国の学校教育制度に基づく高等学校（第10学年以上に相当する課程）で、継続して2学年以上の課程を修了し（2025年3月までに修了する見込みの者を含む）、かつ、特色ある異文化体験を持つ者。 ※ここでいう「外国の学校教育制度に基づく高等学校」には、在外教育施設は含まない。 [資格Ⅴ] 次の英語資格・検定試験のいずれかの成績を取得している者。 ▶利用できる英語資格・検定試験については、P.20を参照すること。 (a) ケンブリッジ英語検定スコア160点以上 (b) 実用英語技能検定 [英検] スコア2,300点以上 (c) GTECスコア1,180点以上 (d) IELTS (Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア 5.5以上 (e) TEAPスコア309点以上 (f) TEAP CBTスコア600点以上 (g) TOEFL iBTスコア72点以上 ※英語資格・検定試験の成績は4技能スコアのみ有効とする。 ※いずれも出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。</p> ●映像身体学科 [資格Ⅰ] 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、ボランティア等の課外の社会的活動において、優れた実績を挙げた者。団体活動の場合には、当該実績を持ち、かつ、指導的立場など、活動成立の過程で欠かせない重要な役割を果たした者。 [資格Ⅱ] 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、音楽、放送、映像、演劇、美術、文学、書道、弁論等の文化・芸術活動において、優れた実績を挙げた者。団体活動の場合には、当該実績を持ち、かつ、指導的立場など、活動成立の過程で欠かせない重要な役割を果たした者。 [資格Ⅲ] 外国において、外国の学校教育制度に基づく高等学校（第10学年以上に相当する課程）で、継続して2学年以上の課程を修了し（2025年3月までに修了する見込みの者を含む）、かつ、特色ある異文化体験を持つ者。 ※ここでいう「外国の学校教育制度に基づく高等学校」には、在外教育施設は含まない。 <p>-----</p> <p>【現代心理学部：出願条件1(c)の詳細内容について】 出願条件1(c)に記載のある「2024年4月から2025年3月までに学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。」とは、以下のいずれかに該当する者を指す。 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者で、出願条件1(a)に定める評定平均値を満たすもの。 (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。 (4) 文部科学大臣の指定した者（旧制学校等を修了した者は含まない）。 (5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者。 ただし、2025年3月31日までに満19歳（同年4月1日が誕生日の者を含む）以上になる者は含まない。 (6) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者。 ただし、2025年3月31日までに満19歳（同年4月1日が誕生日の者を含む）以上になる者は含まない。 (7) その他、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したものを。</p>
選考方法	
<p>第1次選考</p> <p>●出願書類をもとに書類選考</p>	<p>第2次選考</p> <p>心理学科：小論文、面接試験 映像身体学科：面接試験</p> <p>●小論文：課題文が与えられ、これを参考にして書かれた小論文から、読解力・独創性・論理的構成力・表現力などを総合的に評価します。</p>
<p>【出願書類】 入学志願票／志望理由書／調査書／活動報告書／証明書類</p>	

スポーツウエルネス学部

募集人員	出願資格																																																												
	<p>次の1～5の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。 (a) 2023年4月から2025年3月までに高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下同じ）を卒業する者。 (b) 2023年4月から2025年3月までに通常の課程による12年の学校教育を修了する者。 (c) 2023年4月から2025年3月までに学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（詳細は、下記を参照すること）。</p> <p>2. 高等学校を卒業している者は高等学校の評定平均値が3.5以上のもの。 高等学校卒業見込みの者は第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.5以上のもの。 なお、出願条件1(c)に該当する者（在外教育施設を修了する者を除く）および出願条件5 資格Ⅶで出願する者については、評定平均値の条件は設けない。</p> <p>3. 本学スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科での勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>4. 次の英語資格・検定試験のいずれかを受験し、スコアを提出できる者。 ▶利用できる英語資格・検定試験については、P.20を参照すること。 (a) 実用英語技能検定 [英検] (b) GTEC (c) IELTS (Academic Module) (d) TEAP (e) TEAP CBT (f) TOEFL iBT ※英語資格・検定試験の成績は4技能スコアのみ有効とする。 ※いずれも出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。</p> <p>5. 次の[資格Ⅰ]～[資格Ⅶ]のいずれかに該当する者。 [資格Ⅰ] 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、スポーツの分野（バラスポーツおよびeスポーツを含む）で優秀な成績を収めた者もしくは当該成績を収めた者に対して指導的役割を果たした者（選手以外を含む）。ただし、スポーツ競技の種類は、資格Ⅱの対象となるスポーツ競技種目を除く。 [資格Ⅱ] 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、スポーツの分野で都道府県レベル以上の大会においてベスト8以上の成績を収めた者もしくは当該成績を収めた者に対して指導的役割を果たした者（選手以外を含む）。団体競技の場合は、ベスト8以上の成績を収めたチームで、レギュラーまたはそれに準ずる選手として活躍した者もしくは指導的役割を果たした者（選手以外を含む）。ただし、スポーツ競技の種類は下表の種目とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="6">【対象となるスポーツ競技種目一覧】 ※五十音順</th> </tr> <tr> <td>合気道</td> <td>サッカー(男子)</td> <td>水泳競技</td> <td>軟式野球(男子)</td> <td>ハンドボール(男子)</td> <td>ラクロス(男子)</td> </tr> <tr> <td>アイスホッケー(男子)</td> <td>山岳</td> <td>スキー</td> <td>日本拳法</td> <td>フィギュアスケート</td> <td>ラクロス(女子)</td> </tr> <tr> <td>アメリカンフットボール(男子)</td> <td>自転車競技</td> <td>スピードスケート</td> <td>馬術</td> <td>フェンシング</td> <td>陸上競技</td> </tr> <tr> <td>空手道</td> <td>射撃</td> <td>相撲(男子)</td> <td>バスケットボール(男子)</td> <td>ボート</td> <td>レスリング</td> </tr> <tr> <td>弓道</td> <td>柔道</td> <td>ソフトテニス</td> <td>バスケットボール(女子)</td> <td>ボクシング(男子)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>剣道</td> <td>重量挙げ(ウエイトリフティング)</td> <td>体操競技(新体操を含む)</td> <td>バドミントン(男子)</td> <td>ホッケー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>硬式野球(男子)</td> <td>卓球(男子)</td> <td>卓球(女子)</td> <td>バドミントン(女子)</td> <td>洋弓(アーチェリー)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ゴルフ</td> <td>準硬式野球(男子)</td> <td>卓球(女子)</td> <td>バレーボール(男子)</td> <td>ヨット</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>少林寺拳法</td> <td>テニス</td> <td>バレーボール(女子)</td> <td>ラグビー(男子)</td> <td></td> </tr> </table> <p>※山岳については、登山または縦走競技に限る。 ※水泳競技については、競泳競技に限る。 ※(男子)(女子)の記載はその競技の選手の性別を指し、選手以外の者の性別は問わない。当てはまらない場合は、資格Ⅰで出願すること。 ※性別の記載がない競技種目については、性別は問わない。 ※バラスポーツ競技は募集競技種目の対象とはならない。</p> <p>[資格Ⅲ] 芸術分野（音楽、バレエ、書道、日本舞踊など）で、優秀な成績を収めた者。 [資格Ⅳ] 自然・環境分野（ボーイスカウトやガールスカウト、山岳活動やアウトドア活動、自然環境ボランティア、持続可能な社会づくりに関わる活動など）で特別な実績を挙げた者。 [資格Ⅴ] 文系分野（小説、ジャーナリズムなど）で全国または国際レベルの大会への出場経験を有する者。 [資格Ⅵ] 理系分野の全国または国際レベルの大会（科学オリンピック〈数学、物理、化学、生物学、地学、情報〉、日本学生科学賞、高校生科学技術チャレンジ、ロボットコンテスト、中高生・スポーツデータ解析コンペティション、SIGNATEなど）への出場や理系分野の学会発表の経験を有する者。 [資格Ⅶ] 次の(i)・(ii)のいずれかを満たす者。 (i) 外国において、外国の学校教育制度に基づく中学校・高等学校（第7学年以上に相当する課程）で、継続して3学年以上の課程を修了した者（2025年3月までに修了する見込みの者を含む）。 (ii) 外国において、外国の学校教育制度に基づく小学校・中学校・高等学校で、通算して5学年以上の課程を修了した者（2025年3月までに修了する見込みの者を含む）。 ※ここでいう「外国の学校教育制度に基づく小学校・中学校・高等学校」には、在外教育施設は含まない。</p> <p>-----</p> <p>【スポーツウエルネス学部：出願条件1(c)の詳細内容について】 出願条件1(c)に記載のある「2023年4月から2025年3月までに学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。」とは、以下のいずれかに該当する者を指す。 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者で出願条件2に定める評定平均値を満たすもの。 (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。 (4) 文部科学大臣の指定した者（旧制学校等を修了した者は含まない）。 (5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者。 ただし、2025年3月31日までに満20歳（同年4月1日が誕生日の者を含む）以上になる者は含まない。 (6) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者。 ただし、2025年3月31日までに満20歳（同年4月1日が誕生日の者を含む）以上になる者は含まない。 (7) その他、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したものを。</p>	【対象となるスポーツ競技種目一覧】 ※五十音順						合気道	サッカー(男子)	水泳競技	軟式野球(男子)	ハンドボール(男子)	ラクロス(男子)	アイスホッケー(男子)	山岳	スキー	日本拳法	フィギュアスケート	ラクロス(女子)	アメリカンフットボール(男子)	自転車競技	スピードスケート	馬術	フェンシング	陸上競技	空手道	射撃	相撲(男子)	バスケットボール(男子)	ボート	レスリング	弓道	柔道	ソフトテニス	バスケットボール(女子)	ボクシング(男子)		剣道	重量挙げ(ウエイトリフティング)	体操競技(新体操を含む)	バドミントン(男子)	ホッケー		硬式野球(男子)	卓球(男子)	卓球(女子)	バドミントン(女子)	洋弓(アーチェリー)		ゴルフ	準硬式野球(男子)	卓球(女子)	バレーボール(男子)	ヨット			少林寺拳法	テニス	バレーボール(女子)	ラグビー(男子)	
【対象となるスポーツ競技種目一覧】 ※五十音順																																																													
合気道	サッカー(男子)	水泳競技	軟式野球(男子)	ハンドボール(男子)	ラクロス(男子)																																																								
アイスホッケー(男子)	山岳	スキー	日本拳法	フィギュアスケート	ラクロス(女子)																																																								
アメリカンフットボール(男子)	自転車競技	スピードスケート	馬術	フェンシング	陸上競技																																																								
空手道	射撃	相撲(男子)	バスケットボール(男子)	ボート	レスリング																																																								
弓道	柔道	ソフトテニス	バスケットボール(女子)	ボクシング(男子)																																																									
剣道	重量挙げ(ウエイトリフティング)	体操競技(新体操を含む)	バドミントン(男子)	ホッケー																																																									
硬式野球(男子)	卓球(男子)	卓球(女子)	バドミントン(女子)	洋弓(アーチェリー)																																																									
ゴルフ	準硬式野球(男子)	卓球(女子)	バレーボール(男子)	ヨット																																																									
	少林寺拳法	テニス	バレーボール(女子)	ラグビー(男子)																																																									
選考方法																																																													
<p>第1次選考</p> <p>●出願書類をもとに書類選考</p>	<p>第2次選考</p> <p>●小論文：論文作成のための素材や枠がある程度与えられ、独創的発想・問題理解力・論理的構成力・文章表現力・知的素養などを評価します。 ●面接試験：面接試験を2日間にわたって実施します。1日目は個別面接、2日目はプレゼンテーション・グループディスカッションを行います。</p>																																																												
<p>【出願書類】 入学志願票／調査書／競技実績報告書*1／活動報告書*2／証明書類</p> <p>*1. 出願条件5 [資格Ⅰ・Ⅱ]のみ。 *2. 出願条件5 [資格Ⅲ～Ⅶ]のみ。</p>																																																													